

「軽度失語症者に対する治療アプリ開発」において 一般社団法人京都知恵産業創造の森 令和6年度産学公連携共同研究開発事業補助金に採択されました

京都光華女子大学（所在地：京都市右京区、学長：高見茂）では、脳刺激技術を活用した事業を展開する Ghoonuts 株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役：都志宣裕）と言語機能向上の創出を目指し、失語症者向けの言語トレーニングアプリの有用性に関する共同研究を行っております。この度、この共同研究が一般社団法人京都知恵産業創造の森「令和6年度産学公連携共同研究開発事業補助金」事業に採択されました。

■軽度の失語症者向けのトレーニングアプリの共同開発

本学福祉リハビリテーション学科言語聴覚専攻と Ghoonuts 株式会社が行う共同研究「軽度失語症に対する治療アプリの研究開発」では、軽度の失語症者が在宅で使用できる失語症トレーニングアプリの開発を進めています。既存の失語症トレーニングアプリは中等度～重度の失語症を対象としており、単語の理解や発声を目的とした課題が多いため、軽度で復職を目指す失語症者には、より複雑で実用性の高い文法機能の回復を中心とした課題が必要となります。今回の共同開発しているアプリは、課題の提供だけでなく言語聴覚士によるオンラインでの進捗確認や相談などのフォローアップ体制の提供も目指します。

この度、本共同研究開発が一般社団法人京都知恵産業創造の森が行っている支援事業「令和6年度産学公連携共同研究開発事業補助金」において採択されました。

■本共同研究に期待される「注目ポイント」

脳卒中などが原因で脳の言語機能領域が損傷されると、「言葉が理解できない・話せない」などといった言語障害「失語症」が生じます。日本高次脳機能障害学会によると失語症者の復職率は8.2%と非常に低くなっています。

医療機関や介護施設等での言語聴覚士による訓練に関する先行研究では、3年以上の長期にわたり、週15時間にわたる質の高い介入を実施することで、効果的に失語症の言語機能が高まる可能性を報告していますが、現状では、十分な時間介入ができていないことが課題でなっています。その要因として、言語聴覚士の人材不足・治療時間の医療保険制度の制約が挙げられ、それを補うための自主訓練として、トレーニングアプリが注目されています。

失語症者の職場復帰率

8.2%

出典：日本高次脳機能障害学会社会復帰委員会
失語症アフォーラム検討小委員会「わが国における
失語症言語聴覚士の効果メタアナリシス(2016)」

■「一般社団法人京都知恵産業創造の森」とは？

一般社団法人京都知恵産業創造の森は、京都市内の産業支援機関等への橋渡しや、多様な人々との出会い、交流の促進など、様々な支援をワンストップで提供しています。産学公連携共同研究開発事業は、産学公連携に基づく知恵の融合により、新しい社会的価値の創出に繋げるための研究開発であり、技術の実用化または事業化を目指す取組を推進することを目的としています。

報道各社におかれましては、ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

＜取材に関するお問い合わせ＞

京都光華女子大学 / 短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] https://www.koka.ac.jp/